

平成28年度 第1回  
山陽小野田市子ども・子育て協議会資料

～山陽小野田市子ども・子育て支援事業計画の  
主な事業の実施状況について～

平成28年8月29日（月） 18時30分～

山陽小野田市役所3階 第2委員会室

## 1 教育・保育提供体制の充実（計画P47～）

### ①事業の概要

平成27年度は、公立保育所5園、私立保育所12園、公立幼稚園1園及び私立幼稚園6園で教育・保育の提供を行いました。

### ②平成27年度の実績

平成27年度に始まった子ども・子育て支援新制度で定められた1号～3号の認定区分ごとの見込量（申込数）と、各施設区分ごとの確保方策（提供量）について、計画、実績及びその比較を示したものは次のとおりです。

※1号認定・・・幼稚園（3歳以上）

2号認定・・・認可保育所（3歳以上）

3号認定・・・認可保育所（3歳未満）、地域型保育（0～2歳）

| 計画            | 1号認定       | 2号認定         |              | 3号認定  |      |     |
|---------------|------------|--------------|--------------|-------|------|-----|
|               |            | 3歳以上<br>教育希望 | 3歳以上<br>保育必要 | 1～2歳  | 0歳   |     |
| 見込量合計①        | 473人       | 152人         | 904人         | 638人  | 57人  |     |
| 確保方策<br>(提供量) | 特定教育・保育施設  | 230人         | /            | 871人  | 536人 | 78人 |
|               | 確認を受けない幼稚園 | 673人         | 152人         | /     | /    | /   |
|               | 特定地域型保育事業  | /            | /            | /     | /    | /   |
|               | 合計②        | 903人         | 152人         | 871人  | 536人 | 78人 |
| ②-①           | 430人       | 0人           | ▲33人         | ▲102人 | 21人  |     |

| 実績            | 1号認定       | 2号認定         |              | 3号認定 |      |     |
|---------------|------------|--------------|--------------|------|------|-----|
|               |            | 3歳以上<br>教育希望 | 3歳以上<br>保育必要 | 1～2歳 | 0歳   |     |
| 見込量（申込数）合計①   | 620人       | 923人         | 454人         | 67人  |      |     |
| 確保方策<br>(提供量) | 特定教育・保育施設  | 230人         | /            | 984人 | 485人 | 87人 |
|               | 確認を受けない幼稚園 | 825人         | /            | /    | /    | /   |
|               | 特定地域型保育事業  | /            | /            | /    | /    | /   |
|               | 合計②        | 1,055人       | 984人         | 485人 | 87人  |     |
| ②-①           | 435人       | 61人          | 31人          | 20人  |      |     |

※1号認定は平成27年5月1日時点の数値です。

2号認定は平成27年4月1日時点の数値です。

※見込量＝申込数

確保方策（提供量）：定員＞入園（所）者数の場合は、提供量＝定員。入園（所）者数＞定員の場

合は、提供量＝入園（所）者数。

| 実績－計画         |            | 1号認定 | 2号認定         |              | 3号認定  |     |
|---------------|------------|------|--------------|--------------|-------|-----|
|               |            |      | 3歳以上<br>教育希望 | 3歳以上<br>保育必要 | 1～2歳  | 0歳  |
| 見込量合計①        |            | ▲5人  |              | 19人          | ▲184人 | 10人 |
| 確保方策<br>(提供量) | 特定教育・保育施設  | 0人   |              | 113人         | ▲51人  | 9人  |
|               | 確認を受けない幼稚園 | 0人   |              |              |       |     |
|               | 特定地域型保育事業  |      |              |              |       |     |
|               | 合計②        | 0人   |              | 113人         | ▲51人  | 9人  |
| ②－①           |            | 5人   |              | 94人          | 133人  | ▲1人 |

1号認定欄について、平成27年度に新制度に移行した幼稚園は2園でした。それ以外の園に通園する児童については、新制度の支給認定を受けておらず、上の表で1号認定、2号認定の区分に当てはめることはできませんが、参考として数値を示しています。入園希望は定員を下回っており、提供量は充足しています。

2号認定のうち、3歳以上の保育希望者は、申込数、提供量とも計画を上回る実績となりました。提供量は申込数を上回っており、年度当初の時点では提供量は充足しています。

3号認定のうち、1～2歳児の申込数及び提供量は、計画を下回る実績となりました。0歳児の申込数及び提供量は、計画を上回る実績となりました。1～2歳児及び0歳児とも、提供量は申込数を上回っており、年度当初の時点では提供量は充足しています。

|          | 1号認定<br>2号認定<br>(教育希望) | 2号認定<br>(保育必要) | 3号認定    |         |
|----------|------------------------|----------------|---------|---------|
|          |                        |                | 1～2歳    | 0歳      |
| 見込量（申込数） | 計画 > 実績                | 計画 < 実績        | 計画 > 実績 | 計画 < 実績 |
| 提供量      | 計画 = 実績                | 計画 < 実績        | 計画 > 実績 | 計画 < 実績 |
| 供給量の検証   | 充足                     | 充足             | 充足      | 充足      |

### ③今後の方向性

平成28年度から高千帆小百合幼稚園が新制度に移行しました。

また、新たに2か所の小規模保育事業所を認可し、保育需要が多い0～2歳児の乳幼児の受け皿の整備を行いました。

公立保育所については、施設によって定員の過不足があること、施設の老朽化が進んでいること等の状況を受けて、今後再編について検討していきます。

## 2 地域子ども・子育て支援事業の充実（計画P51～）

### （1）利用者支援事業

#### ①事業の概要

子ども及びその保護者が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるような情報の提供を行い、必要に応じて相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。

#### ②平成27年度の実績

| 提供区域 | 計画  | 実績  | 達成状況 |
|------|-----|-----|------|
| 市全域  | 1か所 | 1か所 | 達成   |

#### ③今後の方向性

平成27年度は、こども福祉課において、窓口対応等により事業を実施しました。12月からは地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）を活用して、保育サービスの情報提供、相談や就労支援を行う子育てコンシェルジュを配置しました。

平成28年度からは業務内容を見直し、利用者支援事業（特定型）として位置付けて事業を実施しています。現在は子育てコンシェルジュ1人が事業に当たっていますが、将来的にはコンシェルジュの増員も含めて、事業の更なる充実について検討していきます。

また、平成28年度から、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センター「ココシエ」を保健センター内に開設し、利用者支援事業（母子保健型）を実施しています。

今後は、両事業の連携を図りながら、事業の充実を図っていきます。

### （2）地域子育て支援拠点事業

#### ①事業の概要

市内5か所の保育所（焼野保育園、須恵保育園、さくら保育園、姫井保育園、貞源寺第二保育園）に地域子育て支援センターを開設しています。地域の身近な場所である保育所で、園庭開放や子育て講座等を行い、子育て中の親子の交流・育児相談の場を提供しています。

この他にも、4か所の保育所（日の出保育園、津布田保育園、伸宏保育園、真珠保育園）が元気子育て支援センターを開設し、地域の子育てを支援するとともに、子どもの健全育成に取り組んでいます。

#### ②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画    | 実績      | 達成状況    |     |
|------|-------|---------|---------|-----|
| 市全域  | 量の見込み | 23,000人 | 20,833人 | 未達成 |
|      | 確保方策  | 5か所     | 5か所     | 達成  |

③今後の方向性

平成28年度から、厚陽保育園で元気子育て支援センターを開設しました。

また、子育て世代のニーズを把握するため、平成28年度に地域子育て支援センターの利用者を含む子育て世代に対するアンケート調査を行いました。調査結果については今後の施設運営に反映させるとともに、引き続き制度の周知に努め、利用者増加のための取組を継続します。

**(3) 妊婦健康診査**

①事業の概要

妊婦の健康の保持増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、健康状態の把握や必要な検査計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適切な時期に、必要に応じた検査を実施します。

市では、母子健康手帳の交付時に、14回分の妊婦健康診査受診補助券をお渡ししています。

②平成27年度の実績

| 提供区域 |                | 計画     | 実績     | 達成状況 |
|------|----------------|--------|--------|------|
| 市全域  | 人数<br>(受診者数)   | 480人   | 463人   | 未達成  |
|      | 回数<br>(延べ受診回数) | 6,120回 | 5,731回 | 未達成  |

③今後の方向性

妊娠する方の人数による影響が大きく、実績値の多寡で成果を図ることが困難な事業であり、見込みを下回る実績となりました。

今後も制度の啓発を行い、妊娠された方が適切に健康診査を受診するよう取り組んでいきます。具体的には、健診を受けていない方の把握を行い、健康診査の受診を指導し、妊婦の健康の保持に努めます。

**(4) 乳児家庭全戸訪問事業**

①事業の概要

赤ちゃんが生まれたすべての家庭を母子保健推進員や保健師が訪問し、母子保健サービス等子育て支援に関する情報提供、養育環境の把握及び育児相談等を行います。

②平成27年度の実績 (年間訪問人数)

| 提供区域 | 計画   | 実績   | 達成状況 |
|------|------|------|------|
| 市全域  | 426人 | 429人 | 達成   |

見込みどおりの実績となりました。

※母子保健推進員の推移

| 年度 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 人数 | 53  | 53  | 52  | 53  | 53  | 44  |

戸別訪問等も行い、母子保健推進員の人員確保に取り組んでいますが、欠員が多く補充できていない状況です。

資質向上のため、年4回の研修を実施しています。

### ③今後の方向性

今後も母子保健推進員の人材確保と質の向上に努めながら、母子保健推進員及び保健師による全戸訪問を実施し、乳児家庭の孤立化を防ぐとともに、乳児の健全育成環境の整備に努めます。

## (5) 養育支援訪問事業

### ①事業の概要

乳児家庭全戸訪問事業等により把握した養育支援が特に必要な家庭を保健師が訪問し、その養育が適切に行われるよう、必要な支援を行います。

### ②平成27年度の実績（年間訪問人数）

| 提供区域 | 計画  | 実績 | 達成状況 |
|------|-----|----|------|
| 市全域  | 10人 | 3人 | 未達成  |

支援を必要とする家庭に対して適切な支援を提供することが求められる事業です。実績値の多寡で成果を図ることが困難な事業であり、当初の見込みを下回る実績となりました。

平成27年度は、支援を必要とする方への適切な支援が提供できました。

### ③今後の方向性

今後も養育支援訪問を継続し、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭が必要とする適切な支援を提供し、個々の家庭が抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。

## (6) 子育て短期支援事業

### ①事業の概要

保護者の疾病や仕事等の理由により、家庭での児童の養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間児童等を養育・保護する制度です。

### ②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画   | 実績  | 達成状況 |
|------|------|-----|------|
| 市全域  | 120人 | 25人 | 未達成  |

年度間で利用希望の増減が大きく、実績値の多寡で成果を図ることが困難な事業です。利用希望

に対して適切に対応できる体制を整えておく必要があります。

### ③今後の方向性

例年、市内の陽光園、山口市の清光園と契約を締結して、利用希望があったときに対応しています。それ以外にも、年度ごとにファミリーホームや里親等と契約して、受け入れ体制の充実に努めています。

陽光園への子育て短期支援の受入依頼の際は、児童養護施設という施設本来の設置目的を阻害しないよう、配慮しながら施設との調整を行っています。

## (7) ファミリーサポートセンター事業

### ①事業の概要

子育て中の人や、仕事などで子どもの世話ができないときに、育児の援助を受けたい人と援助できる人が助け合う相互援助活動の会員組織です。

### ②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画   | 実績   | 達成状況 |
|------|------|------|------|
| 市全域  | 320人 | 410人 | 達成   |

積極的な制度の周知に努めた結果、当初の見込み以上の利用実績となりました。

### ※登録会員数の推移

| 人    | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 依頼会員 | 138 | 165 | 195 | 232 | 209 | 232 | 277 |
| 提供会員 | 47  | 48  | 52  | 55  | 41  | 38  | 36  |
| 両方会員 | 14  | 18  | 20  | 20  | 18  | 19  | 24  |
| 合計   | 199 | 231 | 267 | 307 | 268 | 289 | 337 |

### ③今後の方向性

今後も引き続き制度の周知に努め、利用の促進を図ります。また、利用希望の増加に対応するために、提供会員の一層の確保に努めます。

また、提供会員の資質向上ための取組として、今後も研修を実施します。

## (8) 一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）

### ①事業の概要

主として、幼稚園等に在籍する満3歳以上の幼児で、教育時間の前後又は長期休暇等に、幼稚園で一時的に保育を行います。

②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画      | 実績 | 達成状況 |
|------|---------|----|------|
| 市全域  | 10,110人 | 0人 | 未達成  |

平成27年度から始まった制度です。

平成27年度は、当初実施を予定していた園が実施を見送り、利用実績はありませんでした。

③今後の方向性

平成28年度から小野田小百合幼稚園が一時預かり事業を開始しました。

今後も施設の意向に基づき実施します。

**(9) 一時預かり事業（幼稚園の預かり保育以外）**

①事業の概要

急な用事や急病等により、一時的に児童の世話ができない場合に、保育所でお子さんをお預かりします。1月に12日まで利用することができます。利用希望者は直接園に申し込みます。

②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画     | 実績     | 達成状況 |
|------|--------|--------|------|
| 市全域  | 7,658人 | 2,659人 | 未達成  |

8園で一時預かり事業を実施しています。

利用実績は見込みを下回りました。

③今後の方向性

平成28年度から厚陽保育園が事業を開始しました。

今後も施設の意向を聞きながら、実施していきます。

**(10) 延長保育事業**

①事業の概要

認定された保育時間を越えて保育所等で保育を実施します。

②平成27年度の実績（年間利用者数）

| 提供区域 | 計画   | 実績   | 達成状況 |
|------|------|------|------|
| 市全域  | 696人 | 764人 | 達成   |

標準時間認定の延長保育については、1時間延長を実施している保育所が5園、30分延長が5園、50分延長が1園、合計11園で実施しています。

短時間認定の延長保育については、全園で実施しています。

平成27年度の利用実績は、当初の見込みを上回りました。



※利用者数は、標準時間認定、短時間認定の合計です。

③今後の方向性

就業形態の多様化や女性の社会進出の拡大等に伴い、需要の増加が予想される事業です。施設の意向を確認しながら、利用希望に対応できるように、事業の充実を図っていきます。

(11) 病児保育事業

①事業の概要

児童の病気の際、仕事等の理由により、保育所や小学校等での集団生活ができないときに、一時的にお子さんを預かり、保育を行います。

②平成27年度の実績（年間延利用者数）

| 提供区域 | 計画     | 実績     | 達成状況 |
|------|--------|--------|------|
| 市全域  | 1,010人 | 1,171人 | 達成   |

平成27年度は、市内の病児保育実施施設は1施設のみでしたが、ほぼ当初見込みどおりの利用実績となりました。

また、宇部市とも協定を結んで、市外の施設における病児保育の利用にも対応しています。

③今後の方向性

平成28年度中に、新たに1か所の施設を整備する予定であり、これにより市内2か所の施設での事業実施を行います。

宇部市との協定も継続して市内と近隣市での病児保育の体制整備に努めます。

(12) 放課後児童クラブ事業

①事業の概要

保護者の就労等により、放課後や長期休暇期間（夏休み等）に児童の養育ができない家庭を対象に、児童を預かります。対象年齢は、平成27年度から小学6年生までに拡大されました。

②平成27年度の実績

提供区域 小学校区

| 本山      | 計画A  | 実績B | B-A  |
|---------|------|-----|------|
| ① 量の見込み | 76人  | 48人 | ▲28人 |
| 低学年     | 49人  | 48人 | ▲1人  |
| 高学年     | 27人  | 0人  | ▲27人 |
| ② 確保方策  | 36人  | 48人 | 12人  |
| ②-①     | ▲40人 | 0人  |      |

※①量の見込み欄は申込者数、②確保方策欄は通所決定者数又は定員です。

平成27年4月1日時点の数値です。

| 赤崎      | 計画A  | 実績B | B-A  |
|---------|------|-----|------|
| ① 量の見込み | 77人  | 69人 | ▲8人  |
| 低学年     | 57人  | 68人 | 11人  |
| 高学年     | 20人  | 1人  | ▲19人 |
| ② 確保方策  | 36人  | 69人 | 33人  |
| ②-①     | ▲41人 | 0人  |      |

| 須恵      | 計画A  | 実績B | B-A  |
|---------|------|-----|------|
| ① 量の見込み | 109人 | 83人 | ▲26人 |
| 低学年     | 71人  | 83人 | 12人  |
| 高学年     | 38人  | 0人  | ▲38人 |
| ② 確保方策  | 40人  | 83人 | 43人  |
| ②-①     | ▲69人 | 0人  |      |

| 小野田     | 計画A  | 実績B | B-A  |
|---------|------|-----|------|
| ① 量の見込み | 58人  | 60人 | 2人   |
| 低学年     | 37人  | 60人 | 23人  |
| 高学年     | 21人  | 0人  | ▲21人 |
| ② 確保方策  | 40人  | 60人 | 20人  |
| ②-①     | ▲18人 | 0人  |      |

| 高泊      | 計画A  | 実績B | B-A  |
|---------|------|-----|------|
| ① 量の見込み | 67人  | 67人 | 0人   |
| 低学年     | 42人  | 67人 | 25人  |
| 高学年     | 25人  | 0人  | ▲25人 |
| ② 確保方策  | 30人  | 67人 | 37人  |
| ②-①     | ▲37人 | 0人  |      |

| 高千帆     | 計画A  | 実績B  | B-A  |
|---------|------|------|------|
| ① 量の見込み | 102人 | 105人 | 3人   |
| 低学年     | 58人  | 105人 | 47人  |
| 高学年     | 44人  | 0人   | ▲44人 |
| ② 確保方策  | 40人  | 93人  | 53人  |
| ②-①     | ▲62人 | ▲12人 |      |

| 有帆      | 計画A | 実績B | B-A  |
|---------|-----|-----|------|
| ① 量の見込み | 39人 | 48人 | 9人   |
| 低学年     | 27人 | 48人 | 21人  |
| 高学年     | 12人 | 0人  | ▲12人 |
| ② 確保方策  | 32人 | 48人 | 16人  |
| ②-①     | ▲7人 | 0人  |      |

| 厚狭      | 計画A | 実績B  | B-A  |
|---------|-----|------|------|
| ① 量の見込み | 87人 | 129人 | 42人  |
| 低学年     | 58人 | 128人 | 70人  |
| 高学年     | 29人 | 1人   | ▲28人 |
| ② 確保方策  | 80人 | 122人 | 42人  |
| ②-①     | ▲7人 | ▲7人  |      |

| 厚陽      | 計画A | 実績B | B-A  |
|---------|-----|-----|------|
| ① 量の見込み | 12人 | 17人 | 5人   |
| 低学年     | 9人  | 16人 | 7人   |
| 高学年     | 3人  | 1人  | ▲2人  |
| ② 確保方策  | 40人 | 30人 | ▲10人 |
| ②-①     | 28人 | 13人 |      |

| 出合      | 計画A | 実績B | B-A  |
|---------|-----|-----|------|
| ① 量の見込み | 19人 | 29人 | 10人  |
| 低学年     | 12人 | 25人 | 13人  |
| 高学年     | 7人  | 4人  | ▲3人  |
| ② 確保方策  | 40人 | 30人 | ▲10人 |
| ②-①     | 21人 | 1人  |      |

| 津布田     | 計画A | 実績B | B-A |
|---------|-----|-----|-----|
| ① 量の見込み | 8人  | 8人  | 0人  |
| 低学年     | 5人  | 7人  | 2人  |
| 高学年     | 3人  | 1人  | ▲2人 |
| ② 確保方策  | 19人 | 20人 | 1人  |
| ②-①     | 11人 | 12人 |     |

| 埴生      | 計画A | 実績B | B-A |
|---------|-----|-----|-----|
| ① 量の見込み | 34人 | 35人 | 1人  |
| 低学年     | 22人 | 32人 | 10人 |
| 高学年     | 12人 | 3人  | ▲9人 |
| ② 確保方策  | 40人 | 35人 | ▲5人 |
| ②-①     | 6人  | 0人  |     |

| 合計      | 計画A   | 実績B  | B-A   |
|---------|-------|------|-------|
| ① 量の見込み | 688人  | 698人 | 10人   |
| 低学年     | 447人  | 687人 | 240人  |
| 高学年     | 241人  | 11人  | ▲230人 |
| ② 確保方策  | 473人  | 705人 | 232人  |
| ②-①     | ▲215人 | 7人   |       |

平成27年度に高学年の預かりに対応したのは、厚陽、出合、埴生及び津布田の4クラブです。提供量が申込数を下回り、入所希望が叶わなかったクラブは、高千帆及び厚狭の2クラブでした。

### ③今後の方向性

児童クラブの利用を希望する方全員が制度を利用することができるよう、年次的な施設整備を行っていきます。

平成28年度は本山児童クラブ、小野田児童クラブ、有帆児童クラブ及び須恵児童クラブで施設整備を行い、受入対象年齢の拡大等に伴う利用希望の増加に対応する予定です。